
学 会 記 事

○特定非営利活動法人日本火山学会 平成 18 年度秋季臨時総会議事録

1. 日 時: 平成 18 年 10 月 24 日 (火)
午後 4 時 30 分～5 時 30 分
2. 場 所: 熊本県阿蘇市蔵原 1420 リゾートホテル
阿蘇いこいの村 B 会場 (ゆうすげ)
3. 出席者: 維持会員出席者 39 名, 有効委任状 99 通
4. 議案
 - 第一号議案 本年度事業の経過の件
 - 第二号議案 各賞受賞候補者承認の件
 - 第三号議案 Cities on Volcanoes 5 島原大会と平成 19 年度秋季大会の件
 - 第四号議案 日本学術会議の新体制と IAVCEI 対応委員について
 - 第五号議案 議事録署名人の件
 - 第六号議案 その他
5. 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1) 第一号議案 本年度事業の経過の件
昨年度事業について各担当理事からの報告 (資料 1) にもとづき議長が諮り, 全員異議無くこれを了承した。
 - (2) 第二号議案 各賞受賞候補者承認の件
平成 18 年度日本火山学会研究奨励賞候補者, 平成 18 年度日本火山学会論文賞候補及び平成 18 年度日本火山学会賞候補について井口理事からの報告 (資料 2) にもとづき議長が諮り, 全員異議なくこれを了承した。
 - (3) 第三号議案 Cities on Volcanoes 5 島原大会と平成 19 年度秋季大会の件
Cities on Volcanoes 5 島原大会と平成 19 年度秋季大会について, 中田副会長からの説明 (資料 3) にもとづき議長が諮り, 全員異議なくこれを了承した。
 - (4) 第四号議案 日本学術会議の新体制と IAVCEI 対応委員について
日本学術会議の新体制と IAVCEI 対応委員について議長からの説明 (資料 4) にもとづき議長が諮り, 全員異議なくこれを了承した。
 - (5) 第五号議案 議事録署名人の件
議長より本日の議事をまとめるに当り, 議事録署名人 2 名を選出することを諮り, 田中良和氏および福岡孝昭氏を選任することを全員異議無く承認した。

(6) 第六号議案 その他

会員より学部学生の大会参加費について意見があり, 会長が担当理事とも相談して検討することを説明した (資料 5)。

以上, この議事録が正確であることを証します。

平成 18 年 10 月 24 日

議 長	藤 井 敏 嗣	印
議事録署名人	田 中 良 和	印
議事録署名人	福 岡 孝 昭	印

(資料 1)

(1) 庶務委員会報告 (森田理事)

1-1. 会員状況

10 月 24 日現在での会員数は, 維持会員 278 名 (内 3 は団体), 学術会員 848 名, 一般会員 29 名, 団体会員 15, 名誉会員 10 名。5 月の総会以降, 入会希望 30 名 (学術会員 28 名, 一般会員 2 名), 逝去 2 名, 退会 5 名, 今年度除名対象者 22 名 (10 月 24 日現在で会費滞納 5 年の会員)

1-2. 共催, 協賛, 後援の状況

共催・協賛 3 件: 第 50 回粘土科学討論会, 第 32 回リモートセンシングシンポジウム, 海洋調査技術学会第 18 回研究成果発表会。後援 1 件: 2006GUPI GEOFORUM-2『J-GEOPARKS』, 転載・使用許可 8 件: 火山第 22 巻第 1 号 (1977), 第四紀火山カタログ委員会編 (1999), 「日本の第四紀火山カタログ v. 1.0(CD-ROM 版)」他, 公募・募集 11 件

(2) 編集委員会報告 (西村理事)

2-1. 学会誌編集状況

51 巻 3 号は 6 月 30 日, 51 巻 4 号は 8 月 31 日に発行済み。51 巻 5 号 (10 月末発行予定) に論説 3 編, 口絵写真 1, 追悼 1 を予定。51 巻 6 号 (12 月末発行予定) に論説 2 編, 書評 1 編を予定。現在の査読編集状況は論説 10 編, 寄書 4 編。積極的な投稿を呼びかけた。

(3) 事業委員会報告 (伊藤理事)

3-1. 第 7 回夏休み子供サマースクール

日 時: 平成 18 年 8 月 12 (土)～13 日 (日)

場 所: 平塚市市民活動センター・他

主 催: 日本火山学会, 日本地震学会, 平塚市, ひらつか防災まちづくりの会

収支報告

収入		支出	
日本地震学会事業費	30万円	貸し切りバス代	16万8千円
日本火山学会事業費	20万円	会場費	市無料提供
参加費(2000円)	6万2千円	宿舎費(シーツ代など)	31,109円
		食費(飲み物代含む)	99,459円
		保険代	13,140円
		実験材料費・資料費	77,832円
		スタッフ交通費	48,499円
		スタッフ前泊費	8,000円
		ハンドブック印刷費	5万円(未)
		映像記録作成・送付費	5万円(未)
		宿題WS資料作成費	1万円(未)
		雑費	6千円(未)
合計	56万2千円	合計	56万2千円

後 援: 内閣府, 総務省消防庁, 文部科学省, 国土交通省, 神奈川県, 平塚市教育委員会

講師・スタッフ: 山崎晴雄 (実行委員長, 首都大学東京), 伊藤英之 (国土技術政策総合研究所), 小山真人 (静岡大学), 武村雅之 (鹿島建設), 萬年一剛 (神奈川県温泉地学研究所), 相原延光 (神奈川県立西湘高校), 佐藤明子 (平塚市立山城中学校) ほか

3-2. 第13回公開講座

日 時: 2006年10月22日(日) 13:00~16:30
場 所: 熊本大学 工学部2号館2階講義室および1階ロビー

プログラム

特別講演: 「阿蘇地方の火山神神話」
石黒 耀 (医師・小説家)

公開講座 Q&A: 司会 伊藤和明

- ・九州の火山
- ・阿蘇山
- ・火山に親しもう
- ・もっと広く火山を知ろう

火山の実験

参加人数 230名

3-3. 2007年度カレンダー「躍動する地球」の販売状況について

- ・販売価格: 会員: ¥1,400, 非会員: ¥1,680.
- ・10月4日より学会員を対象として, web 上での販売を開始.
- ・10月20日現在, 27部の申し込みがあり, 直接, 誠文堂より発送予定.
- ・公開講座会場のみ, 非会員 ¥1,600 で販売.

- ・毎日新聞紙面で宣伝された.
- ・気象庁本庁, 気象研究所の書店でも販売.
- ・秋季大会会場においても販売した.

(4) 大会委員会報告 (松島理事)

日本地球惑星科学連合 2007年大会予定が報告された.

日 程: 2007年5月19(土)~24日(木) 6日間

会 場: 幕張メッセ 国際会議場

火山学会提案のレギュラーセッション

「活動的火山」

提案母体: 火山学会・地震学会・測地学会・地質学会

代表コンビナー: 青木陽介

「火山・火成活動とマグマ」

提案母体: 火山学会・地質学会

代表コンビナー: 下司信夫

火山学会提案のスペシャルセッション

「火山爆発のダイナミクス」提案母体: 火山学会

代表コンビナー: 中村美千彦

「島弧マグマと揮発性物質」

提案母体: 火山学会

代表コンビナー: 篠原宏志

「火山の熱水系」

提案母体: 地熱学会・火山学会・地球化学会

代表コンビナー: 江原幸雄

また, 火山学会関連の発表日をまとめて欲しい要望が理事会からあったが, 連合大会のプログラム委員会 (青木・下司) で考慮してもらうこととなった.

(資料2)

日本火山学会研究奨励賞 第06号

宮坂瑞穂 (1972.10.2 生) 北海道大学大学院理学研究

院 日本学術振興会特別研究員,「伊豆諸島三宅島火山・西暦 1469 年以降のマグマ供給システムの構造と進化について」, 推薦者: 中村光弘

日本火山学会研究奨励賞 第 07 号

竹内晋吾 (1974.10.9 生) 産業技術総合研究所地質調査総合センター 日本学術振興会特別研究員,「火山噴火機構の物質科学的研究」, 推薦者: 中村美千彦

火山学会論文賞 第 07 号

Takeshi Nishimura, Satoru Tanaka, Teruo Yamawaki, Hidekazu Yamamoto, Takashi Sano, Minemori Sato, Hisashi Nakahara, Naoki Uchida, Shuichiro Hori and Haruo Sato

“Temporal changes in seismic velocity of the crust around Iwate volcano, Japan, as inferred from analyses of repeated active seismic experiment data from 1998 to 2003”, (EPS, Vol. 57, No. 6, pp. 491-505)

日本火山学会賞 第 01 号

鹿児島県「火山活動にかかわる学者, 防災行政関係者, 住民の融合と火山との共生」

(資料 3)

Cities on Volcanoes 5 (第 5 回火山都市国際会議 島原大会) と火山学会秋季大会について

- COV5 会議は 2007 年 11 月 19 日～23 日, 島原復興アリーナ及び雲仙岳災害記念館で開催。主催: 日本火山学会, 島原市。共催: 国際火山学地球内部化学協会 (IAVCEI), 九大理学研究院, 東大地震研, 後援: 国土交通省, 内閣府, 長崎県, 文部科学省, 気象庁, 日本自然災害学会, (社)土木学会, (社)砂防学会, など (詳しくは本号の COV 広告掲載頁を参照のこと)。
- 火山学会はこの会議の主催団体のひとつである。火山学会として, シンポジウムの企画・プログラム編成や巡検の企画に加え, 学術団体への補助金の申請, 企業や個人からの寄付金を集める役割を担う必要がある。ここで集められた寄附金・等を利用して, 主として発展途上国 (特にアジア諸国) からの参加者の補助と会議をサポートする学生ボランティアへの補助を行う予定である。
- 平成 19 年度火山学会秋季大会は, COV5 会議直前の 11 月 18 日の 1 日間 3 会場で開催。COV5 会議と同じ会場で行う。COV5 会議には Science Session があるので, そちらにも積極的に投稿して欲しい。

(資料 4)

日本学術会議の新体制と IAVCEI 対応委員について

学術会議の新体制発足に伴い, 地球惑星科学委員会の国際対応分科会のもとに IUGG 対応の小委員会がつけられ, 委員長は河野長会員, 幹事として今脇連携会員 (九大応用力学研究所長), 大久保連携会員 (東大地震研研究所長) が選出された。本小委員会では IAVCEI 担当委員として藤井敏嗣が, 副委員として中田節也が選任されている。最近になって, 国際対応分科会のもとに, さらに IUGG 参加の 7 つのアソシエーションに対応する小委員会を設立することとなった。これを受けて, 火山学会では旧学術会議のもとにあった地球惑星物理学研究連絡委員会火山学専門委員会の旧構成メンバーを中心に IAVCEI 対応小委員会を設立した。なお, この小委員会は火山学会内部の臨時委員会である国際担当委員会として機能することも決定された。構成メンバーは中田 (委員長), 鶴川 (幹事), 石原, 清水, 鍵山, 高橋 (正), 藤井, 藤田の 8 名。これにより, 中田は IAVCEI の National Correspondence となる。IAVCEI 対応小委員会の当面の任務は来年 7 月にイタリア, ペルーで開かれる IUGG 総会に提出する National Report の IAVCEI 担当部分を作成することである。

(資料 5)

学部学生の火山学会秋季大会の参加登録料が高いという意見が出された。火山学会入会前の学部学生は非会員料金となるため負担が大きい。以前のように参加登録なしに登録料を無料にしていきたいという要望が出された。議長は, 学生会員になる前の学部学生が学会に参加することを奨励したいが, 規約の問題もあり現時点での即答は出来ない。どのような対応策が取れるか検討したいと返答した。

○2006 年度日本火山学会受賞

【研究奨励賞】

第 06 号 受賞者: 宮坂瑞穂

研究課題: 伊豆諸島三宅島火山・西暦 1469 年以降のマグマ供給システムの構造と進化について

受賞理由: 宮坂瑞穂さんは, 伊豆諸島三宅島火山において, 歴史時代噴出物から 7000 年以上前までの噴出物について岩石学的研究を行っており, 特に西暦 1469 年以降の噴出物に注目して最近 500 年間の三宅島火山下には, 深さ約 10 km 程度に次第に分化していく玄武岩質マグマ, 深さ約 2-3 km にはより深部から玄武岩質マグマの注入を受けて次第に未分化になっていく安山岩質マグマが存在し続けており, それぞれが周期的に噴火していることを解明した。そして 2000 年 6 月以降の三宅島噴



左から西村さん、竹内さん、藤井会長、宮坂さん、鹿兒島県高山危機管理局長（リゾートホテル阿蘇いこいの村で10月24日撮影）

火は、このモデルによって合理的に解釈できることが明らかになった。系統的に採取された膨大なサンプルについての解析や、岩石中の異種鉱物の組み合わせ（集斑晶）とその組成に着目した独創性など、本研究は火山下のマグマ供給系の研究手法やプロセスについて他の研究者の範となる研究事例であることから研究奨励賞にふさわしいものと判断される。

（略 歴）

1972年10月生まれ

2001年3月 北海道大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻博士課程修了

2001年10月 新エネルギー・産業技術総合開発機構産業技術養成技術者、産業技術総合研究所

2003年4月 日本学術振興会特別研究員 PD、産業技術総合研究所

2004年4月 日本学術振興会特別研究員 PD、北海道大学大学院理学研究院

（主な業績）

Amma-Miyasaka, M. and Nakagawa, M. (2002) Origin of anorthite and olivine megacrysts in island-arc tholeiites: Petrological study of 1940 and 1962 ejecta from Miyakejima volcano, Izu-Mariana arc. *Jour. Volcanol. Geotherm. Res.*, **117**, 263–283.

Amma-Miyasaka, M. and Nakagawa, M. (2003) Magmatic system of Miyake-Jima volcano, Izu-Mariana arc. —Evolution of deeper basaltic and shallower andesitic magmas during 1469–1983 A.D.-. *Jour. Petrol.*, **44**, 12, 2113–2138.

Amma-Miyasaka, M., Nakagawa M. and Nakada, S. (2005) Magma plumbing system of the 2000 eruption of

Miyakejima Volcano, Japan. *Bull. Volcanol.*, **67**, 254–267.

【研究奨励賞】

第07号 受賞者：竹内晋吾

研究課題：火山噴火機構の物質科学的研究

受賞理由：竹内晋吾さんは、火山学における重要な研究課題の一つである噴火機構について、主に物質科学的研究から注目すべき成果を上げている。Rubinの岩脈伝播モデルと、経験的な母岩の引張強度とを結合することで、マグマがマグマ溜りから噴出できる粘性限界が決定されることを着想し、北海道駒ヶ岳および他のいくつかの火山で自らの仮説を立証した。また同時に、マッシュ状マグマ溜りからの噴火開始条件に対する高温マグマの役割についても定量的に明らかにした。更に、透気率測定装置を自ら開発し、単純な減圧発泡で作成された人工的な軽石が、天然の軽石に比べて遥かに低い浸透率を持つことを見出し、天然での脱ガス過程における流動変形の重要性を指摘した。噴火活動史・火山地質から力学まで、総合的・多角的側面から物質科学的研究を行っており、今後火山噴火機構の研究が進展されるものと考えられるので研究奨励賞にふさわしいと判断した。

（略 歴）

1974年10月生まれ

2002年3月 東京工業大学院理工学研究科地球惑星科学専攻博士課程修了

2002年4月 東京工業大学院理工学研究科地球惑星科学専攻科学研究支援員

2005年4月 日本学術振興会特別研究員（PD）産業技術総合研究所地質情報研究部門

（主な業績）

Takeuchi, S. and Nakamura, M. (2001) Role of precursory less-viscous mixed magma in the eruption of phenocryst-rich magma: evidence from the Hokkaido-Komagatake 1929 eruption, *Bull. Volcanol.*, **63**, 365–376, doi: 10.1007/s004450100151.

Takeuchi, S. (2004) Precursory dike propagation control of viscous magma eruptions, *Geology*, **32**, 1001–1004; doi: 10.1130/G20792.1.

Takeuchi, S., Nakashima S., Tomiya A. and Shinohara H. (2005) Experimental constraints on the low gas permeability of vesicular magma during decompression, *Geophys. Res. Lett.*, **32**, L10312, doi: 10.1029/2005GL022491.

【論文賞】

第07号 著 者: Takeshi Nishimura, Satoru Tanaka, Teruo Yamawaki, Hidekazu Yamamoto, Takashi Sano, Minemori Sato, Hisashi Nakahara, Naoki Uchida, Shuichiro Hori and Haruo Sato

論文題名: Temporal changes in seismic velocity of the crust around Iwate volcano, Japan, as inferred from analyses of repeated active seismic experiment data from 1998 to 2003, *Earth Planets Space*, Vol. 57, No. 6, pp. 491–505

受賞理由: 本論文において扱われている火山地域における地震波速度の時間変化については、火山噴火予知計画などにおいて最も注目されているものの1つであるが、日本の火山地域で明らかに地震波速度変化を検出した唯一の論文として高く評価できる。また、速度変化の理由についても地盤変動を根拠として十分議論されており、論文賞にふさわしいと判断する。

【日本火山学会賞】

第01号 受賞者: 鹿児島県

研究課題: 火山活動にかかわる学者、防災行政関係者、住民の融合と火山との共生

受賞理由: 鹿児島県が1988年に開催した鹿児島国際火山会議は、火山学だけでなく様々な分野の研究者や行政関係者、防災関係者、火山周辺の住民等が火山活動の社会に与える影響について議論した世界で初めての国際フォーラムである。これを契機に認識された火山学と社会との関わりの重要性が、*Cities on Volcanoes* に引き継がれ、2007年11月に再び日本へ戻り、第5回目の *Cities on Volcanoes* が島原市で開催されることから、鹿児島県が開催した鹿児島国際火山会議は、日本や世界の火山学の発展へ大きく貢献していると判断される。また、鹿児島県は官民住民が一体となった火山災害対策に一貫して取り組んできていることから日本火山学会賞を受賞するに値する。

○会員消息

●新入会員(2006年5月17日～2006年10月24日まで)

氏名	所属	自宅	専門分野
井上 雅喜 いのうえ まさき INOUE Masaki	大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻 560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1	Email inoue@astroby.ess.sci.osaka-u.ac.jp	
	TEL FAX	TEL FAX	学術会員
宇津木 充 うつぎ みつる UTSUGI Mitsuru	京都大学・院・理・地球熱学研究施設火山研究センター 869-1404 熊本県阿蘇郡長陽村	Email utsugi@aso.vgs.kyoto-u.ac.jp	地球電磁気学
	TEL 0967-67-0022 FAX 0967-67-2153	TEL FAX	学術会員
笠井 裕美子 かさい ゆみこ KASAI Yumiko	東北大学理学部地球惑星物質科学科 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3	Email kasaiymk@ganko.tohoku.ac.jp	実験岩石学
	TEL 022-795-7764 FAX 022-795-7764	TEL FAX	学術会員
加藤 史恵 かとう ふみえ KATO Fumie	日本大学文理学部地球システム科学科 156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40	Email kf-kato@sea.sannet.ne.jp	
	TEL FAX	TEL FAX	学術会員
クラッシュヤイ・ジタ くらしやい じた Krassay ZITA	千葉大学自然科学研究科地球生命圏科学専攻 263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学西千葉キャンパス	Email krassay@graduate.chiba-u.jp	
	TEL 043-290-2846 FAX 043-290-2846	TEL FAX	学術会員
河野 裕希 こうの ゆうき KOUNO Yuki	九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻 855-0843 長崎県島原市新山2-5643-29	Email yuhki-k@sevo.kyushu-u.ac.jp	地殻変動
	TEL 0957-62-6621 FAX 0957-63-0225	TEL FAX	学術会員
小杉 浩明 こすぎ ひろあき KOSUGI Hiroaki	熊本大学大学院 自然科学研究科(理学系)地球環境科学 860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1	Email aragonite3341@yahoo.co.jp 860-0862 熊本県熊本市黒髪6-14-43 サンハイツ黒髪206	
	TEL FAX	TEL 090-8225-4901 FAX	学術会員
齊藤 将孝 さいとう まさたか SAITO Masataka	神戸大学理学部地球惑星科学教室 657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1	Email 067s405n@kobe-u.ac.jp	火山学, 岩石学
	TEL 078-881-1212 FAX 092-865-6030	TEL FAX	学術会員
坂口 弘訓 さかぐち ひろくに SAKAGUCHI Hirokuni	島根大学総合理工学部地球資源環境学教室 690-8504 島根県松江市西川津町1060	Email 690-0823 島根県松江市西川津町853-5 フラットカーサ207号	
	TEL FAX	TEL FAX	学術会員
坂中 伸也 さかなか しんや SAKANAKA Shin'ya	秋田大学工学資源学部地球資源学科 010-8502 秋田市手形学園町1-1	Email sakanaka@ipc.akita-u.ac.jp	地球電磁気学
	TEL 018-889-2373 FAX 018-837-0401	TEL FAX	学術会員
佐保 圭介 さほ けいすけ SAHO Keisuke	東京工業大学火山流体研究センター 152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1	Email 145-0062 東京都大田区北千束2-20-7 MAC千束コート103号	火山電磁気学
	TEL 03-5734-3119 FAX	TEL FAX	学術会員
島田 誠一 しまだ せいいち SHIMADA Seichi	独立行政法人防災科学技術研究所 地震研究部 305-0006 つくば市天王台3-1	Email shimada@bosai.go.jp	地殻変動論
	TEL 029-863-7622 FAX 029-863-7610	TEL FAX	学術会員
菅井 明 すがい あきら SUGAI Akira	鹿児島地方気象台観測予報課 890-0068 鹿児島市東都元町4-1 鹿児島第2地方合同庁舎	Email akira-sugai@met.kishou.go.jp	地震学
	TEL 099-250-9916 FAX 099-250-9916	TEL FAX	学術会員
平 徳泰 たいら のりやす TAIRA Noriyasu	東京工業大学火山流体研究センター H-85 152-8551 目黒区大岡山2-12-1	Email taira@ksvo.titech.ac.jp	火山化学
	TEL 03-5734-2226 FAX	TEL FAX	学術会員
田中 正子 たなか まさこ TANAKA Masako	財団法人リモートセンシング技術センター総務部 106-0032 港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル12F	Email saito-a@restec.or.jp	
	TEL 03-5561-4521 FAX 03-5574-8151	TEL FAX	一般会員
長谷 英彰 はせ ひであき HASE Hideaki	北海道大学地震火山研究観測センター 060-0810 札幌市北区北10条西8丁目	Email hase@mail.sci.hokudai.ac.jp	地球電磁気学
	TEL 011-706-2641 FAX	TEL FAX	学術会員

氏名	所属	自宅	専門分野
秦野 秀明 はたの ひであき HATANO Hideaki	白石整形外科 330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町3-13-9	Email bodhi-sattva@nifty.com	
	TEL 048-822-2312 FAX	TEL FAX	一般会員
馬場 章 ばば あきら BABA Akira	信州大学理学部地質科学教室 390-8621 長野県松本市旭3-1-1	Email s024025@shinshu-u.ac.jp	
	TEL FAX	TEL FAX	学会会員
板東 道子 ばんどう みちこ BANDO Michiko	北海道大学大学院理学研究院自然史科学部門 060-0810 札幌市北区北10条西8丁目	Email bando@ep.sci.hokudai.ac.jp	
	TEL 011-706-2723 FAX	TEL FAX	学会会員
堀川 義之 ほりかわ よしゆき HORIKAWA Yoshivuki	山口大学大学院理工学研究科地球科学 753-8511 山口県山口市吉田1677-1	Email j014vd@yamaguchi-u.ac.jp 753-0841 山口県山口市吉田1920-22 アーバンハイツ105	
	TEL FAX	TEL FAX	学会会員
前田 裕太 まえだ ゆうた MAEDA Yuuta	東京工業大学 152-8551 目黒区大岡山2-12-1 石川台2号館	Email ymaeda@geo.titech.ac.jp	火山物理学
	TEL FAX	TEL FAX	学会会員
松本 光央 まつもと みつお MATSUMOTO Mitsuo	九州大学大学院工学府地球資源システム工学専攻 812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1	Email m.matsumoto@mine.kyushu-u.ac.jp	
	TEL 092-641-3131-8857 FAX	TEL FAX	学会会員
マリア ハナ ミラブ ^エ / まりあ はな みらぶえの MIRABUENO Ma Hannah	鹿児島大学理学部地球環境科学科 890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-35	Email e05hanah@eni.ac.kagoshima-u.ac.jp	Geology (地質学)
	TEL FAX	TEL FAX	学会会員
三島 誠司 みしま せいじ Mishima Seiji	東京工業大学火山流体研究センター 152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1	Email 181-0013 東京都三鷹市下連雀6-6-30	火山電磁気学
	TEL 03-5734-3119 FAX	TEL FAX	学会会員
三輪 学央 みわ たかひろ MIWA Takahiro	九州大学地球惑星科学専攻岩石循環科学研究分野 812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1	Email miwao@geo.kyushu-u.ac.jp	火山学
	TEL 092-642-2650 FAX	TEL FAX	学会会員
守安 誠 もりやす まこと MORIYASU Makoto	福岡大学理学研究科地球圏科学科地学分野 814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1	Email se030657@cis.fukuoka-u.ac.jp	地質年代学
	TEL 092-871-6631 FAX 092-865-6030	TEL FAX	学会会員
八塚 慎也 やつつか しんや YATSUZUKA Shinya	福岡大学理学部地球圏科学科地学分野 814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1	Email sd063004@cis.fukuoka-u.ac.jp	年代学
	TEL 092-871-6631 FAX 092-865-6030	TEL FAX	学会会員
山崎 明 やまざき あきら YAMAZAKI Akira	気象研究所地震火山研究部 300-0052 茨城県つくば市長峰1-1	Email ayamazak@mri-jma.go.jp	地球震磁気学
	TEL 092-853-8682 FAX 029-851-3730	TEL FAX	学会会員
山野井 勇太 やまのい ゆうた YAMANOI Yuta	大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻 560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1	Email yuta@ess.sci.osaka-u.ac.jp	
	TEL 06-6850-5557 FAX 06-6850-5480	TEL FAX	学会会員
吉田 牧子 よしだ まきこ YOSHIDA Makiko	九州大学地球惑星科学専攻岩石循環科学研究分野 812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1	Email yoshida@geo.kyushu-u.ac.jp	岩石学
	TEL 092-642-2650 FAX	TEL FAX	学会会員

●所属先・連絡先等の変更(2006年6月24日～2006年12月19日まで)

氏名	所属	自宅	専門分野
安藤 忍 あんだう しんのぶ ANDO Shinobu	気象庁地震火山部火山課火山監視情報センター 100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4	Email ando-@met.kishou.go.jp	
	TEL 03-3212-8341 FAX 03-3212-3648	TEL FAX	学会会員
池上 宏樹 いけがみ ひろき IKEGAMI Hiroki	北海道千歳高等学校定時制	Email 066-0036 北海道千歳市北栄1丁目4-40 9共済C2	火山学
	TEL FAX	TEL 0123-26-9401 FAX	学会会員
井上 公夫 いのうえ きみお INOUE Kimio	財団法人砂防フロンティア整備推進機構 102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4	Email k-i_sanyo@sff.or.jp 181-0001 東京都三鷹市井の頭1-6-20	地理(地形)
	TEL 03-5216-5872 FAX 03-3262-2202	TEL 0422-76-6255 FAX 0422-76-6255	維持会員
大野 希一 おおの まれかず OHNO Marekazu	(株)ヘネッコ-ボレーションサイエンス教室 用賀校 158-0097 世田谷区用賀4-1-2 2階	Email mare_o@mac.com	火山学
	TEL FAX	TEL FAX	学会会員
木村 政昭 きむら まさあき KIMURA Masaaki	海洋地学研究所 901-1403 沖縄県南城市佐敷字佐敷1539番地の192	Email kimura@sci.u-ryukyuu.ac.jp	海洋地質学
	TEL 098-948-2477 FAX 098-948-2477	TEL FAX	維持会員
嶋野 岳人 しまの たけと SHIMANO Taketo	富士常葉大学環境防災学部 417-0801 静岡県富士市大淵325	Email	火山学・ 岩石学
	TEL 0545-37-2134 FAX 0545-36-2651	TEL FAX	学会会員
所澤 新一郎 しよざわ しんいちろう SHOZAWA Shinichiro	共同通信仙台支社編集部 980-0022 仙台市青葉区五橋1の2の28	Email shozawa.shinichiro@kyodonews.jp	災害報道
	TEL 022-222-7560 FAX	TEL FAX	維持会員
周藤 正史 すどう まさふみ SUDO Masafumi	Universitaet Potsdam, Institut fuer Geowissenschaften Karl-Liebknecht-Str. 24 Haus 27 14476 Gollm, Germany	Email msudo@geo.uni-potsdam.de Feuerbach-Str. 37 14471 Potsdam Germany	地球年代学
	TEL +49-331-977-5852 FAX +49-331-977-5700	TEL 49-331-967-8829 FAX	学会会員
永迫 俊郎 ながさこ としろう NAGASAKO Toshiro	鹿児島大学 共通教育・法文学部 890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-30	Email	火山灰福年学・ 環境地理学
	TEL FAX	TEL FAX	学会会員
並木 敦子 なみき あつこ NAMIKI Atsuko	産業技術総合研究所地質情報研究部門 305-856 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7	Email	固体地球
	TEL 029-861-3631 FAX	TEL FAX	維持会員
野口 直人 のぐち なおと NOGUCHI Naoto	海洋研究開発機構横浜研究所地球内部変動研究センター 236-0001 横浜市金沢区昭和町3173-25 IT棟4F	Email noguchina@jamstec.go.jp	岩石学
	TEL 045-778-5964 FAX 045-778-5439	TEL FAX	学会会員
古本 宗充 ふるもと むねよし FURUMOTO Muneyoshi	名古屋大学大学院環境学研究所 464-8602 名古屋市千種区不老町一 名古屋大学理学部E館	Email furumoto@eps.nagoya-u.ac.jp	地球物理学
	TEL 052-789-3651 FAX 052-789-3033	TEL FAX	学会会員
堀越 孝昌 ほりこし たかまさ HORIKOSHI Takamasa	日鉄鉱業(株)資源開発部 100-8377 東京都千代田区丸の内二丁目3-2 郵船ビル	Email	鉱山地質・地熱
	TEL 03-3216-5285 FAX 03-3215-8480	TEL FAX	維持会員
前野 深 まえの ふかし MAENO Fukashi	東京大学地震研究所火山噴火予知研究推進センター 112-0012 東京都文京区大塚5丁目16-3 ニルヴェアーナ鈴木203	Email fmaeno@eri.u-tokyo.ac.jp	火山地質学・火 山岩石学
	TEL 03-5841-5768 FAX 03-3812-6979	TEL FAX	学会会員
山脇 輝夫 やまわき てるお YAMAWAKI Teruo	東京工業大学草津白根火山観測所 377-1711 群馬県吾妻郡草津町草津641-36	Email yamawaki@ksvo.titech.ac.jp	地球物理学
	TEL 0279-88-7715 FAX	TEL FAX	学会会員
横山 光 よこやま ひかる YOKOYAMA Hikaru	壮瞥町立壮瞥中学校 052-0101 北海道有珠郡壮瞥町字滝之町420-15	Email yok-h@lares.dti.ne.jp	火山地質
	TEL 0142-66-2367 FAX	TEL 0142-66-2775 FAX	学会会員

次の方々逝去されましたので、謹んでお知らせ致します。(敬称略)
阿久津 純会員(2006年5月), 松尾 紉道会員(2006年9月)